

登別市事業仕分け調書

平成21年度作成

番号	5	事務事業名	学校開放事業
----	---	-------	--------

部 名	教育部	グループ名	社会教育G
-----	-----	-------	-------

事務事業コード	54143001	事業開始年度	昭和 54 年度	事業終了予定年度	平成 - 年度
---------	----------	--------	----------	----------	---------

関連事務事業名	
---------	--

事務事業の実施根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等)	種別	5 市単独で実施している事務事業
	法令等名	社会教育法等
	法令等の内容	学校(国立学校又は公立学校をいう。以下この章において同じ。)の管理機関は、学校教育上支障がないと認める限り、その管理する学校の施設を社会教育のために利用に供するように努めなければならない。

実施方法	市が直接実施	
	民間等へ業務委託または指定管理 (委託先: (社)登別市シルバー人材センター)	
	補助金 (補助先:)	

事務事業の目的と内容

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか。地域や年齢等が限定される場合は詳細に記入) 市民(10人以上で組織する団体、サークル)
事業の目的	(何のために事業を実施したのか。または何のために事業を実施しているのか) 学校等の屋内運動場を学校教育に支障のない範囲で開放し、市民がスポーツを楽しむ場を提供し、生涯スポーツの促進及び健康・体力づくりの増進を図る。
事業の内容	(事業の内容【手段・手法・活動など】) ・開放校：全小学校(8校)、登別中学校、のぼりべつ文化交流館 ・市民10人以上の団体、グループに学校等の体育施設を平日(18:00~21:00)に限り開放する。(10名以下については、総合体育館や青少年会館などの利用を勧めています。) ・利用券により体育館の電灯料相当分として実費負担金を徴収している。 青少年団体：1回の利用につき250円(15歳以下で組織する少年団やクラブ等の団体、グループ) 一般団体：1回の利用につき500円(上記以外の団体、グループ) ・学校開放中の管理については、カギの管理も含め登別市シルバー人材センターへ委託している。 (新規利用や連絡調整は社会教育グループで対応)

事業費

区 分		単位	19年度 決算額	20年度 決算見込額	21年度 予算額
事業の 財源 内訳	国庫支出金 名称	千円			
	道支出金 名称	千円			
	その他 名称	千円	1,015	911	1,000
	地方債	千円			
	一般財源	千円	2,878	2,758	3,727
合 計			3,893	3,669	4,727
上記事業を実施するために 必要となる人件費(概算)	職 員	千円	706	698	709
	嘱 託 員	千円	0	0	0
	臨時職員	千円	0	0	0
	合 計		706	698	709
総合計(合計 + 合計)		千円	4,599	4,367	5,436

事業費 内訳	(21年度予算ベースの事業費の具体的な内訳【節名ごと】)	
	需用費	消耗品費 72,000円(管理上の事務用品や学校設置の消耗部品(ネットやロープ)など)
		印刷製本費 18,000円(学校開放利用券の印刷)
		修繕料 50,000円(使用備品の修繕、故意や不注意による損傷は原則利用団体が負担)
	委託料	管理委託料 4,587,000円(開放中の管理委託料:1日3時間の10施設分、年間約210日)

番号	5	事務事業名	学校開放事業
----	---	-------	--------

部 名	教育部	グループ名	社会教育G
-----	-----	-------	-------

活動実績

活動指標名 (事業のこれまでの実績【数量・回数・人員等】)	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込み)
開放日数(年間延べ)	日	1,737	1,648	1,700
利用者数(年間延べ)	人	32,336	28,633	30,000
利用団体数(年間延べ)	団体	64	65	65

成果

事業の成果	(事務事業を実施したことでのどのような成果が得られたのか。現状の成果)
	各地区のスポーツ少年団が練習場所として使用するなど、青少年の健全育成の場となっているほか、新規利用の希望も多く、利用者間で相談・調整をして半面利用や隔週で利用するなど、スポーツ活動の促進、市民の体力・健康づくりの場として定着している。
	(参考) 青少年利用：野球、サッカー、バレーボール、ミニバスケットボール、空手、和太鼓など 一般利用：サッカー、ミニバレー、バレーボール、バスケットボール、ソフトテニスなど

担当部による評価

事業の自己評価	(事業の今後の方向性、課題等)
	平成20年度は祝祭日(連休)や学校行事等の関係で開放日数が例年より少なかった影響もあり、延利用者数に大幅な減が生じているが、全施設とも利用率が高くスポーツ活動の場として定着していると言える。今後も引き続き多くの市民に利用していただけるよう情報提供や調整に努める。課題としては、利用率が高いことから、新規利用の希望がある際に既存の利用団体との調整について、協力を強く求めていく必要がある。

他の自治体の状況

比較参考値	(他の自治体での類似事業の状況)
	近隣市である室蘭市・伊達市の状況(平成20年度) 室蘭市 ・開放校：喜門岱小を除く全小学校(19校)と中学校2校 ・利用料：一律1回あたり 540円 ・調整、管理：室蘭市体育協会に委託 カギの管理については、各利用団体に体育館の合鍵を渡すことにより、全ての管理を利用団体が責任を持って利用している。 伊達市 ・開放校：全小学校(8校)と中学校5校 ・利用料：一律1回あたり 500円 ・調整、管理：調整は伊達市で行い、管理はシルバー人材センターに委託(登別市とほぼ同様)

特記事項

事業の沿革等	(事業の変遷)																													
	【各年度の開放日数及び延利用者数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開放日数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・H12</td> <td>1,101日</td> <td>23,892人</td> </tr> <tr> <td>・H13</td> <td>1,330日</td> <td>25,951人</td> </tr> <tr> <td>・H14</td> <td>1,399日</td> <td>29,073人</td> </tr> <tr> <td>・H15</td> <td>1,302日</td> <td>26,785人(若草小学校改修のため開放外)</td> </tr> <tr> <td>・H16</td> <td>1,772日</td> <td>34,983人</td> </tr> <tr> <td>・H17</td> <td>1,775日</td> <td>37,167人</td> </tr> <tr> <td>・H18</td> <td>1,745日</td> <td>35,534人</td> </tr> <tr> <td>・H19</td> <td>1,737日</td> <td>32,336人</td> </tr> <tr> <td>・H20</td> <td>1,648日</td> <td>28,633人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	開放日数	利用者数	・H12	1,101日	23,892人	・H13	1,330日	25,951人	・H14	1,399日	29,073人	・H15	1,302日	26,785人(若草小学校改修のため開放外)	・H16	1,772日	34,983人	・H17	1,775日	37,167人	・H18	1,745日	35,534人	・H19	1,737日	32,336人	・H20	1,648日
年度	開放日数	利用者数																												
・H12	1,101日	23,892人																												
・H13	1,330日	25,951人																												
・H14	1,399日	29,073人																												
・H15	1,302日	26,785人(若草小学校改修のため開放外)																												
・H16	1,772日	34,983人																												
・H17	1,775日	37,167人																												
・H18	1,745日	35,534人																												
・H19	1,737日	32,336人																												
・H20	1,648日	28,633人																												